

高齢者の転倒骨折予防アセスメント ～こうすれば転倒事故は減らせる!!～

日 程	平成30年7月6日(金) (10:00～16:00)
対象者	介護福祉関係者 推奨職員:(初級～中級・介護・施設) 及び興味のある方
料 金	会員(法人・個人) 8,000円 一般 10,000円
会 場	ウイリング横浜(横浜市港南区上大岡西1-6-1 オフィスタワー内) 京浜急行・横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩3分

《カリキュラム》

■高齢者介護事故■

- ・特徴と要因
- ・どんな事故が起きているのか

■現場に潜むリスクの回避■

- ・転倒・転落予防アセスメント術
- ・転倒事故防止の具体的な観察のポイントとケア
身体状況 / 介護環境 / 介助方法等、様々な視点から

■事故発生時の対応■

- ・発生時の観察ポイント
- ・看護職・医療職へのつなげ方

■事故再発防止にむけて■

- ・ヒヤリ・ハット事故報告書の書き方
- ・事故原因の分析方法

転倒⇒大腿骨頸部骨折⇒寝たきり を現場で防ぐ!

大腿骨頸部骨折の原因になるのは、高齢者の転倒と言われていて、現場でも様々な予防策を図っているにもかかわらず、どうしても事故は発生します。本セミナーでは、転倒の原因になる観察ポイントから予防方法、事故発生時の対応や事故後の事故要因分析の手法等を学びながら、現場でできる転倒予防や再発予防に向けた介護実践事例を紹介します。

【 講 師 】

特定非営利活動法人メイアイヘルプユー

保健師 鳥海房枝 元特別養護老人ホーム副施設長

豊島区の保健所を皮切りに保健師歴38年。保健所、障害者センター、お年寄り相談係を経て、1998年10月、新設の北区立特別養護老人ホーム「清水坂あじさい荘」に希望して赴任。保健師としての原点「生活への関わり」を要につくりあげた「あじさい荘のケア」が現場から大きな支持を受けていた。厚生労働省の身体抑制ゼロ推進会議の委員(マニュアル部会、ハード部会)、同じく東京都の委員のほか、東京都看護協会の保健師職能委員。



法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	() 会員	() 個人会員	() 一般
個人会員番号			

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行
FAX:045-671-0295
TEL:045-210-0788
 〒231-0023横浜市中央区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 _____ (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)	
	〈mail〉 _____ @ _____	
	〈電 話〉 _____ - _____	〈ファックス〉 _____ - _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()	

<参加者名簿>

お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥8,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥8,000)
			⑧その他()		3.一般(¥10,000)
連絡事項					